

## 「宮中一般参賀」に参列して

新春の2日に、宮中一般参賀に初めて行って来た。

地下鉄を降りて皇居前広場へ近づくと、大勢の人、人が、たくさんの警備の制服警官、皇宮警察の騎馬警官、更に双眼鏡で参列者を見渡す私服警官等の間を二重橋方面に向かう。

途中、日の丸の小旗を渡される。この小旗を配る人たちはどういう人なのかなと思いつつも、問う間がないほど人の波にのまれて歩を進めるしかなし。

まず、「ペットポドル類は持ち込めません！」とのアナウンスを聞きながら手荷物検査のテントへ誘導される。自分は手荷物はなかったのでテント横を無事通過したが、次はボディチェックのテントへ。

そこも無事通過すると、5人の横並びの隊列へ誘導されたがこの隊列が十数列。さらに別方面からの参列者の十数列の隊列も見え、隊列を組みながら二重橋へ誘導される順番を待つ。

ようやく二重橋へ誘導されたが、他の隊列と合流するので横10人の隊列で橋を渡ることになるも、「撮影で立ち止まると後ろの人が危ないので写真撮影はしないで、ゆっくり進んで下さい！」との度重なる警告アナウンス。

最初の橋は列の真ん中にいたので歩行しながらの撮影は無理と気づき、次の橋に向かう坂では列の端に移動したお陰で、何枚か皇居内を歩行しながらパリチ！

参賀の広場はもっと皇居の奥かと思っていたが、二重橋を渡ると直ぐに新宮殿広場。

お出ましのベランダ前はもうたくさんの人で、真ん中の後ろあたりで陛下を始め皇族のお出ましをしばし待つ。

お出ましの姿が見えると、みんなが小旗を振るので実際のお姿はよく見えずに、振られる小旗の間から垣間見る。

陛下のお言葉が始まると小旗振りが納まり、不謹慎かなと思いつつもシャッターチャンスとばかりにパチリ！

帰りは別方向への坂を下ると直ぐに出口である坂下門（もう少し皇居内を見られるのかなと思っていたが…）。

計5回のお出ましで7万7千人が参賀したようだが、これだけのいわゆる群衆を整然と誘導・警備する警察組織の凄さに驚くと共に、参賀に来た人たちだからとはいえ、それに肅々と従う人々を見て、正に「ここは日本だなあ〜。日本人だなあ〜。」とつくづく感じた。

戦後、連合軍が日本を占領統治し易いように「天皇制」を温存させた意図を実感させられるような一日でもあった。